

令和3年もあと1か月

朝晩の寒さが厳しくなってきました。令和3年もコロナ禍の1年となりましたが、残すところ1か月足らずとなりました。

11月5日に行われた「体育フェスティバル」では、多くの保護者の皆様や子どもたちの温かい拍手などの応援により、子どもたちは、一生懸命走ったり、身体いっぱいを使って、一生懸命表現したりすることができました。運営の中心となって頑張った6年生や5年生にとっても、貴重な経験となりました。

17日、18日には、つばさ学級の子どもたちが1泊2日の「げんきキャンプ」に行きました。大自然の中を散策したり、夜にはナイトハイクをしたりなど、友達と力を合わせる活動や、身支度・ベッドメイキングなど、「自分のことは自分でやる」をしっかりと意識して行動することができました。一回りも二回りも成長できた2日間でした。その他、2年生の校外学習、4・5年生の体験学習など、各学年で様々な行事が実施されています。

また、2年生のクラスでは、学区に住む特別支援学校の児童との交流学習を行いました。音楽の授業では、楽器を使ってリズム打ちや音づくりをしました。授業後は一緒に下校しながら、「また一緒にお勉強しようね。」と声を掛ける姿が見られました。ふれあい、学び合い、心を通わせながら、学ぶ場はちがっても、お互いに認め合えるような心の交流が深まることを期待します。お互いの子どもたちにとって、かけがえのない時間になりました。

12月は学習参観、おぐらっ子まつり、農山村留学（6年生）、保護者面談等の行事が予定されています。子どもたちが、学校生活に希望をもち、「わくわく登校、いきいき学び、にこにこ下校」できるように、今後も感染症対策を徹底しながら、教育活動を進めてまいります。保護者の皆様には、多くのご協力をいただきますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



校長 小谷 泰也